

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調査書

(1) 取組名	初黄・日ノ出町地区再生プロジェクト(黄金町バザール)		
(2) 実施団体名	黄金町バザール実行委員会	(3) 対象地域	横浜市中区初音町、黄金町、日ノ出町地区
(4) 代表団体名	-	(5) 推薦団体名	横浜市

(6)実施した取組の内容	取組①	アートイベントの実施		
	実施主体	財団法人横浜市芸術文化振興財団(黄金町バザール実行委員会)		
	実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画		実際の取組内容及びその結果
		<p>・実施内容:違法な特殊飲食店が多数立地していた街の再生を図るため、地域・大学・ボランティア等の協働による文化芸術イベント「黄金町バザール」の実施</p> <p>・実施時期:平成20年9月11日～11月30日</p> <p>・実施場所:京急電鉄「日ノ出町駅」と「黄金町駅」の間の高架下新設スタジオ、旧違法特殊飲食店、空き店舗、川等</p> <p>・参加アーティスト、ショップ:20～30組</p> <p>・来場者数(目標):7万人以上</p> <p>・バザール終了後の取組:高架下施設や旧違法特殊飲食店等にアーティスト、クリエイターが自分の拠点として入居し、地域との連携や、作品の発表、定期的なイベント、作品の売買等を通じて経済的な活動を活性化して、若い人が集まる街に変えていく。</p>		<p>・実施内容:違法な特殊飲食店が多数立地していた街の再生を図るため、地域・大学・ボランティア等の協働による文化芸術イベント「黄金町バザール」の実施</p> <p>・実施時期:平成20年9月11日～11月30日</p> <p>・実施場所:京急電鉄「日ノ出町駅」と「黄金町駅」の間の高架下新設スタジオ、旧違法特殊飲食店、空き店舗、川等30数箇所</p> <p>・参加アーティスト、ショップ:50組以上</p> <p>・来場者数:10万人</p> <p>・バザール終了後の取組:高架下施設や旧違法特殊飲食店等にアーティスト、クリエイターが自分の拠点として入居し、地域との連携や、作品の発表、定期的なイベント、作品の売買等を通じて経済的な活動を活性化して、若い人が集まる街に変えていくため、街のエリアマネジメントを行う「NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター」の設立総会を行った。(現在県に設立の許可申請中。平成21年4月発足)</p>
	取組②	黄金町バザールの経済波及効果、エリアマネジメント調査		
	実施主体	財団法人横浜市芸術文化振興財団(初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会)		
実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画		実際の取組内容及びその結果	
	<p>黄金町バザールの開催時に実験的に誘致したショップ、飲食店についての事業採算性の調査、来訪する人数等による経済波及効果の検証を行い、21年度以降のまちづくり全体のあり方(エリア・マネジメント)を地元や関係者と協議し、店舗誘致等の方向性を検討する。</p>		<p>現在、経済波及効果の測定に必要な基礎的数値等の調査及び関係者アンケート調査を行っており、3月下旬に経済波及効果の報告書をまとめる予定。エリア・マネジメントについては、地元住民とすでに3回のワークショップを行い、街の将来像(マスタープラン)の作成を進めている。これも3月下旬にまとめる予定。</p>	
取組③				
実施主体				
実施内容、 実施結果	当初提案により予定していた計画		実際の取組内容及びその結果	

(7)実施体制	平成20年度の取組実施における体制・役割分担		取組の実施を踏まえた反省点	
	<p>地元・大学・企業・財団・警察・行政が一体となった実行委員会を作り、横浜市が全面的にバックアップする形で進めた。特に、横浜市大、横浜国大、神奈川大の学生やアートに興味を持つ若い人が中心になって事業を支えた。また、地元のお年寄りもボランティアとして活躍してくれ、ボランティア登録者総数としては300人を超えている。</p>		<p>当初から、最初のステップとしては、実行委員会で地元等と協調して進めていくが、地元、企業、大学、文化関係者等が一体となった運営組織が必要と考えていたため、11月30日にNPO法人の設立総会を開催し、エリア・マネジメントを主体的に行う組織を立ち上げた。</p>	
(8)取組により得られた成果	○成果1→ 黄金町地区の課題とまちづくりの方向性(売買春の街をアートの街へ)を広く周知できた			
	H19		H20(当初予定していた目標)	
			7万人の集客を予定していた。	
	H20(実際に得られた成果)			
	<p>来訪者は、当初予想を大きく上回り10万人を超えた。また、新聞、雑誌、テレビ等80件以上のメディアに取り上げられ、大きな反響があった。新聞は、地方版のみならず、朝日、読売、日経、産経では全国版に掲載された、雑誌は、Hanakoや横浜ウォーカー、AERAなどの雑誌をはじめ、美術系雑誌、「新建築」などの建築系雑誌にも取り上げられた。テレビは、NHKの特集番組が放映された。さらに、神奈川大学大学院が基本設計を行った高架下スタジオは、SDレビュー2008朝倉賞を受賞した。以上のように、多方面に渡って周知することができ、旧特殊飲食店のオーナーから会場として使用して欲しいという要望も多くなった。結果、当初計画時の旧特殊飲食店の借り上げ軒数は、9軒だったが、バザール終了時は17軒となった。</p>			
○成果2→ 地元の意識のまとまり及び横浜市民の意識の变革				
H19		H20(当初予定していた目標)		
		これを契機に地元住民にまちづくりに参加してもらい、市民に地域の再生の意義を考えてもらう。		
H20(実際に得られた成果)				
<p>小学校5年生から85歳まで幅広い地域の方々が黄金町バザールにボランティアとした参加してくれた。また、街の費用で登り旗を作成してくれるとともに、地元商店の発案でマップを提示した方にはサービスを提供する協力店が18店参加するなど、地元が一体となったイベントができた。近隣の住民も温かく迎えてくれ、「この街を普通に散歩できるようになるとは思わなかった」と評価してくれた。また、会期中にエリア・マネジメントのワークショップを行ったが、毎回50名以上の参加があり、まちづくりへの参加の意識が高まっている。</p>				

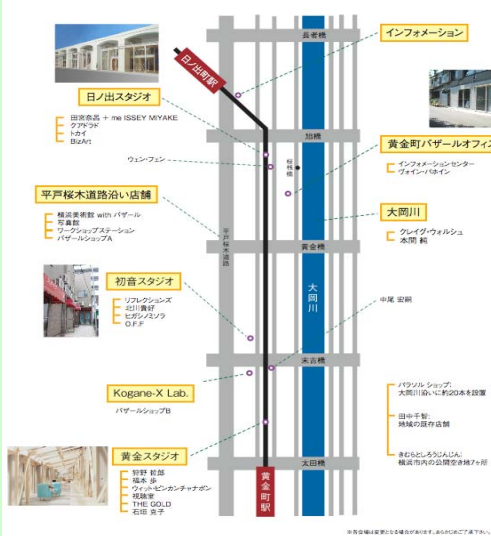
<p>(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p>	<p>今回取り組んだ内容は、全国的にも画期的な事業で、様々な自治体や商店街、大学等から視察に来る現象が続いた。この事業の次のステップをどのように進めていくかが今後の黄金町地区のまちづくりの大きな課題である。組織的な問題として実行委員会方式は寄り集めのものになってしまうために、今後も実行委員会でまちづくりを継続して進めることはできない。そのため、NPO法人を立ち上げた。また、空き室が現在でも多いため、イベント終了後に訪れる人は少ない。街の活性化を進めるためには恒常的にこの街で活動し、営業する人たちをいかに誘致し、街の魅力を高めるかということに尽きる。来年度は恒常的に活動者を誘致する事業に本格的に着手する予定である。</p>	
<p>(10)平成21年度以降の活動の見込み</p>	<p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開 運営団体の設立、空き室等へのアーティスト、クリエイター等の入居、旧違法特殊飲食店等の借上げの増強</p> <p>街の活性化に必要なカフェ、ショップ、飲食店等魅力ある店舗等の誘致</p> <p>街のイメージを特徴づけるイベントの実施</p> <p>まちづくりの調査・連携交流事業</p>	<p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <p>アーティスト、クリエイターの入居募集については、20年12月に1回目を行い、21年2月には2回目を行う予定。また、地域の方々からは空き室を借りて欲しいという要望も多くなっている。そこで、借りた部屋についての改築費用等についての支援をお願いしたい。</p> <p>イベント期間中、カフェ等の事業採算性は、一部改装費の補助や賃貸料を無料にすることでようやく成り立つ状況であった。そのため、今後店舗を誘致するにしてもインシャルコストの一部補助、家賃の低額化が必要である。NPO法人がこの事業を進めるに当たっては、改築費補助や家賃一部補助等も必要と考えられるため、これに対する支援をお願いしたい。</p> <p>街のイメージを「アートの街」として進め、都市観光施設としての役割も担いたいと考えているため、年2回程度の全体イベントや、月に1回程度の縁日のイベントが必要であり、イベント支援をお願いしたい。</p> <p>20年度に大学生を中心にエリアマネジメント調査を行っているが、今後も継続的に調査を重ねることにより、課題のある街の再生の全国的なモデルケースとしての波及力が生まれてくるものなので、継続的な調査支援をお願いしたい。また、大学との連携、他都市、地域間の交流事業など、事業を一般化していくための支援もお願いしたい。</p>

◆主な実施取組の内容◆

実施取組内容・結果

「黄金町バザール」実施：平成20年9月11日～11月30日まで
 開催箇所：30以上 アーティスト、クリエイター、ショップ等参加者50名以上
 来訪者数：10万人以上 TV・新聞等マスコミ等広報数：70社以上
 まちづくりワークショップの開催：9月3日、10月1日、11月5日、3月とりまとめ
 地元組織のNPO化の検討：11月30日設立総会

黄金町バザール展示計画 MAP



日ノ出スタジオ(実験ショップ)



旧特殊飲食店の転用(餅焼焼き)



地元作成のぼり旗



ワークショップステーション



路上パフォーマンス



シンポジウム



まちづくりワークショップ



NPO法人設立総会

◆取組実施による成果・今後の展開◆

黄金町バザール：10万人以上の来訪者
 地元との協働事業の成功
 市民意識の変化「売買春の街→アート街」
 NPO法人の設立まで進んだ



アーティスト、クリエイター等の更なる誘致
 特徴のあるカフェ、ショップ、飲食店等の誘致
 空き室の積極的な借り上げによる転用
 マスタープランの作成とそれに基づくまちづくりの推進